

がんは早期発見により

90%以上が治ります!!

市では、「肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん」の5大がん検診や、「前立腺がん・口腔がん・胃ピロリ菌・肝炎ウイルス・骨粗しょう症等」の検診・検査を実施しています。すべての検診は市の助成により、低負担で受診できますので、定期的な受診しましょう。



今日、日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡しています。また、り患者の3分の1は現役の労働者です。40歳以上の方にとって、がんは非常に身近な病気です。多くのがんの要因はいまだに分かっておらず、がんを完全に予防することは不可能ですが、がんを早期に発見し治療に結びつけることは誰にでもできることです。がんから命を守るためには、定期的な受診が一番の近道です。

がん検診のメリット

最大のメリットは、早期発見・早期治療による救命の効果です。がん検診は症状のない人が対象のため、早期がんが多く発見されます。早期がんはそのほとんどが治り、しかも軽い治療で済みます。

一方、症状が出てから外来を受診した場合には、進行がんが見つかることが多く、臓器によって程度は違いますが、治療できない場合が多くなります。

がん検診のデメリット

どのように優れた検査でも、100%の精度ではありません。がんが発生した時点から、一定の大きさになるまで検査で発見することは難しい状況です。

さらに、がんそのものが見つけにくい形であったり、見つけにくい場所に発生した場合、どのような検診であっても、見逃してしまう可能性があります。